



# 会報浦和支部

第 79 号

平成26年12月1日発行

発行人  
埼玉県行政書士会  
浦和支部

支部長 赤坂 昌雄

## 今年も好評の行政書士無料相談会

行政書士制度広報月間における恒例の無料相談会を、10月11日(土)に浦和駅西口前の浦和コルソ7階ホールにて開催しました。

午前9時に30名の会員がコルソに集合しました。「昨年に引き続き、今年も頑張りましょう！」との気合を込めた赤坂昌雄支部長の挨拶ののち、全員で会場設営を行いました。

午前10時にコルソ開店。チラシ配布のスタッフは街頭に、相談担当者、受付担当者も各々席につき、相談者を待ちました。

相談会開催にあたり、事前に浦和支部エリアの5区役所のくらし応援室ならびに36か所の公民館・コミュニティセンター等に、今回の無料相談会のチラシ配布の依頼を広報部員が手分けをして行いました。中には県や市の後援のないものは扱わないと断られた公民館もありましたが、大半の公民館等では快く受け入れてくださり、ポスターとして掲示していただいたところもありました。

当日は快晴で3連休の初日ということもあり、午前中は相談者もまばらでしたが、当日のチラシ及びポケットティッシュ配布の効果があつたと思われ、お昼頃からチラシを持った相談者がコンスタントに会場してくださり、最終的に36件の相談を行いました。昨年の47件には及びませんでしたが、過去2番目に多い相談件数となりました。

内訳は以下のとおりです。

遺言・相続	26件
不動産関係	1件
各種契約	1件
その他(離婚・交通事故・後見等)	8件



相談受付



相談会会場



無料相談会参加者

遺言・相続の相談が殆んどで全体の72%、60歳以上の高齢者も多く54% (20名) でした。また、チラシを見て訪れた人の相談が半数以上66% (24件) であり、機会があれば誰かに相談したいと思っている人が多くいることに気付かされました。

来場時には緊張のせいかわい表情だった人が、相談を終えて帰られるときには柔らかな表情になって、お礼の言葉をかけてくださったこと、そのような方が何人もいらっしゃったことが印象的でした。また、「いろいろ助言いただき、助かりました。」「一人で悩んでいたけど、アドバイスいただいて少し心が軽くなりました。」などの感想もいただきました。

終了後の打上げの席では、「ベテラン会員の回答を横で聞いて大変勉強になりました」という新人会員の声も多く聞かれ、それぞれに手ごたえを感じた一日でした。

(広報部 古川美保)



## 一泊研修旅行

富岡製糸場・榛名湖・四万温泉・小諸など

10月4日(土)～5日(日)に一泊研修旅行を実施しました。

今回は、世界遺産富岡製糸場視察をメインとした群馬県を巡る研修で、自然を満喫、美酒を堪能してきました。

初日の天気はよく、さいたま新都心をほぼ定刻通り出発しました。今回は、ご来賓として荒岡克巳会長、福田安伸大宮支部長をお招き



いざ出発!

し、総勢27名が参加しました。荒岡会長と新会員1名は現地集合のため、バスには25名が乗車し、群馬県へ向かいました。

車中では、支部長とご来賓のご挨拶の後、各会員が近況報告を行いました。業務のお話はとても参考になりました。また、富岡出身の会員が製糸場について様々なお話をしてくれました。特に印象に残っているのが、幼少期のお話です。親に叱られた時に言われた言葉は、「言うことを聞かないと製糸場に入場させてしまうよ!」だったそうです。これは、製糸場にいるフランス人がワインを好んで飲み、ワインを知らない日本人は、ワインが人の生き血に見えたことから、そのようなことになったようです。

午前10時ごろに、富岡製糸場に到着しました。重要文化財に指定されている東繭倉庫、繰糸場、ブリュナ館など見学しました。東繭倉庫は、製糸場を代表



富岡製糸場にて

する建物で、木で骨組みが造られ、柱の間に煉瓦を積み上げて壁をつくる「木骨煉瓦造」という工法で建てられています。繰糸場は繭から生糸を取る作業場で、屋根は「トラス構造」という従来の日本にはない建築工法で建てられました。ブリュナ館というのは、指導者として雇われたフランス人のブリュナさん一家が暮らしていた住居です。昭和62年操業停止になるまで115年間休むことなく製糸工場として活躍し続けてきました。どの建物も見学者でいっぱい、賑わっていました。

昼食は伊香保にある「時代屋」でいただきました。釜



時代屋にて

上がるまでの工程や道具類の説明を受けました。製品の一つに、皇居の二重橋の照明がありました。また、ハ工取り器の説明も受けました。ハ工取り器は地方によ

て、下に入れる液体が水であったり、お米のとぎ汁であったりするそうです。ガラスの着色作業では、



ガラスのお勉強

ピンク色が一番高級だと教えてくれました。ピンク色を出すには、純金を入れなくてはならないからです。ガラスの元は天然の砂で、とてもサラサラしていました。説明後は売店に行き、素敵なガラス製品に出会いました。

一行は榛名湖に到着しました。非常に寒かったです。希望者はモーターボートに乗り、湖を一周しました。スピードもあり、とても楽しかったようです。しばらく湖を眺め、車中ではカラオケを楽しみながら、宿泊先の四万温泉に向かいました。

宿の温泉の温度は快適で泉質もよく、くつろげる空間でした。夜は宴会が行われ、荒岡会長、会員1名が合流しました。部屋別対抗歌合戦や、カラオケで大いに盛り上がり、交流が深まりました。



二日目、あいにくのお天気で、朝から雨が降り続いていました。台風が近づいているということで、午前8時30分に宿を出発し、浅間酒造観光センターに向かいました。途中に八ツ場ダム建設予定地を通りました。見ている景色が数年後にはダムの下に沈んでしまうそうです。景観が良い場所なので、無くなるのは少し残念な気持ちになりました。



酒造センターではおいしいお酒の試飲や食べ物の試食などをし、お土産を購入しました。



その後小諸で昼食を兼ねリンゴ狩りを予定していましたが、悪天候のため、バーベキューだけとなりました。お肉や野菜を焼きながら会員同士の会話が弾みました。お土産用にリンゴを準備してもらいました。

最後の目的地「ガトーフェスタハラダ工場」見学ですが、こちらも予定を変更し中止しました。お菓子のラスクが有名な工場で、並んで購入するくらい人気のあるお菓子です。帰路に「ハイウェイオアシスららん藤岡」があり、そちらでもラスクが購入できることが分かったからです。関東好きな道の駅ランキングで、この「ららん藤岡」は、5年連続1位を獲得しています。ハラダだけでなく、いくつかのお店が円形にらんでいました。多くの会員がラスクを購入しました。

午後5時頃にさいたま新都心駅に戻ってきました。台風の影響で予定を変更しながらの二日目でしたが、充実した研修旅行になったようです。下車時には、たくさんのお土産を抱え、笑顔でお別れしました。また、来年も多くの会員の皆様にご参加いただけることを願っております。(厚生部 細谷 百合江)



## 新会員交歓会

9月19日(金)午後6時10分よりさいたま市民会館うらわ101集会室にて、企画部主催の新会員交歓会を開催しました。

出席者は、新会員5名、役員11名の合計16名でした。

田幡悦子企画部長の司会により、小栗重美副支部長の開会のことばから始まり、赤坂昌雄支部長よりご自身の長きにわたる行政書士経験を通して、新会員へ向けての貴重なアドバイスを含めた温かな挨拶をいただきました。

続いて、新会員より、行政書士登録の経緯や前職の紹介など、今後の抱負、自身の趣味、マイブームなどを交えた自己紹介が行われました。出席者は少数でしたが、新会員の方々は、多士済々で、はつらつとした前向きな抱負等、内容の濃い自己紹介は、先輩である役員からの拍手喝采の連続でした。

次に、支部役員の自己紹介及び支部活動並びに新会員に対するメッセージが披露され、個性豊かな各役員の方々からの貴重な話に、真剣に、また興味深く聞き入っている新会員の様子は印象的でした。

恒例の記念撮影を経て、乾杯の音頭を福永正子副支部長にとっていただき、立食形式の懇親会へと移り、当初は未知の世界へ飛び込んできた不安や緊張感のある面持ちの新会員も、終始和気藹々とした雰囲気の中で交流を深め、新会員と役員の名刺交換はもとより、新会員同士の情報交換などもこここで活発に行われていました。

歓談後の新会員からの率直な質疑と役員からの本音の応答も大変盛り上がり、今後の業務へのアドバイスや支部活動への参加にも、大きく寄与出来た有意義な場となりました。

最後に、小栗副支部長より大変感動的な、はなむけの言葉をいただきました。ご自身のお父上である、故小栗重昭元顧問が開業当初に如何に顧客を開拓していたか等々のご苦労話には、参加された全員が感動の面持ちで聞き入り、多くの先輩行政書士の地道な努力があつて、今の行政書士があるとのメッセージは、非常に示唆に富んだ大変貴重なアドバイスとなったことと確信します。

最後に、嶋根賢一副支部長の閉会のことば、藤田義晴経理部長の一本締めにより閉会となりました。

(企画部副部長 峯尾 聡)



新会員を囲んで

## 新会員紹介



落合剛之

浦和支部の皆様、こんにちは。昨年10月に行政書士登録をさせていただきました、落合剛之と申します。

大学は法学部の出身ということもあり、あらためて、学生時代に聞きかじった法律にかかわる職業に従事していきたいと思立ち、資格の取得を志しました。本年4月の研修で承認を得た入管申請取次の資格を生かして国際関係業務に特化しつつ、幅広く経験を積んでまいりたいと思っています。

また、受刑者の処遇、死刑制度、少年法・少年福祉、児童虐待など、おもに刑事政策的分野にかかわる人権問題にも強い関心があり、問題状況の情報発信等を行う活動にも参加しております。ご興味をお持ちの皆様方には、ぜひお声をおかけいただければ幸いです。

今後とも、皆様方におかれましては、よろしくご指導・ご鞭撻たまわりますよう、お願い申し上げます。皆様のますますのご清栄を祈念申し上げますとともに、はなはだ微力ではありますが、本会の発展に貢献してまいります所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

\* \* \* \* \*



木戸修二

経歴：はじめまして。平成25年9月に入会しました木戸と申します。前職は定年まで川口市役所に勤務しておりました。

抱負：前職の経験を活かし、街の身近な法律家として、官公署に提出する書類の作成・申請代理・相談等の仕事を通じて、市民の皆様のお役に立てればと思っております。

趣味：高校生の時に陸上部に所属していた関係から現在陸上競技の審判員をやっております。また、30歳代からウォーキング・クラブに入会し、ウォーキングをやっております。

駆け出しの新前ですので、浦和支部の皆様方何卒ご指導の程よろしくお願い申し上げます。また、新会員の皆様、今後とも末永くご指導お引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

\* \* \* \* \*



齋藤広則

昨年、31年間温めていた資格を活かそうと思ひ登録致しました。

今後は、社会人として培ってきた経験をもとにした業務展開を考えております。

未だ右も左も分からぬ新人ですので皆様方、ご教示のほどよろしくお願いいたします。

\* \* \* \* \*



篠田千恵子

行政書士会に登録させていただいて1年足らず、その責任の重さを感じています。

これまで長い間、行政書士事務所で補助者として建設業、産廃の許可等の業務に従事し行政書士の仕事を理解していたつもりでいました。



けれど、研修会や支部の行事に参加する度に、そこで出会えた諸先輩方の豊かな経歴と様々で個性あふれる魅力に接する度に感動し、行政書士はそもそも「人」なのだと感じるようになりました。

勿論、仕事はどんな事も正確に出来るようになりたいと思っていますが、諸先輩方のように魅力あふれる人となり得ることが、行政書士として本当はもっとも大切な事ではないかと、今は思い始めています。

今後も建設業許可等を中心に、仕事を頑張りたいと思います。

そのうえで、自身の年齢もかんがみ、何らかの形で私と同じ高齢者に対し、少しでもお手伝いが出来るようなそんな事にも携われる機会も探して行こうかと思っています。

まだ何も分かりませんが、どうか、よろしくご指導お願い致します。

\* \* \* \* \*



浦和支部の諸先輩の皆様、初めまして鈴木大資(すずきひろすけ)と申します。9月に登録させていただきましたコテコテの新人です。

大学卒業後、エンタテイメント業界に鈴木大資 約20年在籍しておりました。音楽部門ではアーティストの発掘や制作・プロモーション、映像部門では映画への出資や、古い映画のDVD化、国内のテレビドラマの販売権の獲得など両部門で制作、宣伝に長く携わっておりました。

しかしながら、エンタテイメント業界を取り巻く状況は非常に厳しく、4年半前に一転、保険の代理店業に舵を切りました。

現在も諸事情により保険代理店に所属し、損保・生保を販売しながらの開業となっております。行く行くは行政書士として一本立ちをしたいと考えております。また、保険業界やエンタテイメント業界の経験が行政書士業務に役立てる事が出来ればと考えております。支部活動にも積極的に参加したいと思っておりますので今後ともよろしくお願い致します。

【主な資格】ファイナンシャル・プランナーCFP、宅地建物取引主任者、少林寺拳法2段

## 第2回研修会

### 《外国人が係わる法人設立の注意点》

10月17日(金)午後6時より埼玉会館7A会議室にて、企画部主催の第2回研修会を開催しました。

今回は「外国人が係わる場合の法人設立の注意点について」と題し、講師として国際部(申請取次行政書士管理委員会)の吉松昌晃先生をお招きしました。



吉松講師

吉松講師は、長く入管業務や建設業許可申請業務等を主業務としており、実際に数多くの実務経験豊富な方です。自己紹介も兼てご自身の事務所運営の効率化など、

冒頭から興味深いお話から始まり、過去にも埼玉会での入管に関する研修会も担当しているが、今回の

研修会は外国人が会社設立に係わる要件などを取り入れた内容で、単なる入管業務だけでなく大変有意義なテーマであるとお言葉を頂きました。この観点からの具体的な資料をご準備されての講義となりました。

ご講義の中では、自らの豊富な実績を踏まえて、実際の業務で使用された定款などを提示されながら、外国人が法人を設立する上で定款認証や就任承諾書に必要となる本国における印鑑証明もしくは在日本領事館におけるサイン証明の取得方法や資金の出所・事業所の確保・事業計画等がどのように行われているのか等々について、私たちが留意すべき点をあらかじめ調べておく必要があることを説明していただきました。

当日は33名が出席し、最後まで熱心に聴講いたしました。

本研修会終了後、参加された多くの会員から「実務に即した具体的な内容で非常に有意義な研修会でした。」との評価や今後の要望などアンケートを通して貴重なご意見をいただきました。

今後も業務拡大の一助になりますよう、企画部主催の各種研修会等に工夫を重ねて参りたいと思います。  
(企画部副部長 峯尾 聡)

## 行政書士試験

平成26年度の行政書士試験が11月9日(日)に獨協大学にて実施されました。昨年までは2会場で行われましたが、今年は獨協大学の1会場となりました。

試験申込数はここ数年減少傾向にあり、埼玉県では昨年より1,161名減の2,520名で、全国レベルでは、昨年より8,724名減の62,172名でした。

浦和支部からは、大久保治光会員の試験責任者をはじめ本部員4名、試験監督員8名の計13名が参加し、その任に当りました。

今年は試験番号の机への貼り付けを監督員が行うことになったなど昨年までの取組みと異なる点がありましたが、何のトラブルもなく試験を終了できました。

尚、獨協大学(埼玉県)の受験者数は1,975名で約78%の受験率でした。(広報部長 早坂 舜)

\*\*\*\*\*

## カフェ広報部

\*\*\*\*\*

早いもので今年もあと1か月余りとなりました。この2月には支部創立50周年記念講演会と祝賀会が開催され、祝賀会場には、手書き原稿の第1号から始まる過去の会報が展示されていました。支部の歩みを知ると共に、諸先輩方の努力の積み重ねがあり、会報が今に至っていることを改めて強く感じました。

前号からリニューアルされた会報ですが、後世に浦和支部の「今」を伝える存在となれますよう努めたいと思っています。引き続き皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。

(広報部副部長 矢野直樹)